

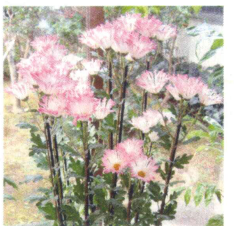
けんこうニュース

発行所

奥津医院

南足柄市生駒381
電話 0465-74-0024
発行人 奥津紀一

在宅医療実施者三十七名に
当院十月統計



看護師さん交代

川久保絹子さん退職

樽木千晴さんが就任しました。病院で七年間勤務し、救急室も担当していたというこ

とですが、結婚を期に当院へ移りました。

海でのダイビングが趣味という元気な方なので、当院に新風を吹き込んでくれるものと期待しています。

湧言飛語



いごちの良い医院

当院はいごちの良い医院をめざしています。できるだけきれいにやわらかい雰囲気をつくり出すことに努めています。

毎年和田河原の日比野賀一さんが丹精を込めた菊を飾ってくれています。(写真) ありがとうございます。

今年は竹松の飯田一雄さんも、めずらしい菊をお持ち下さいました。(写真上)

ゆったりとできるのは、と考へ待合室にやわらかい、低いソファを置いたのですが、これは立ち上がりにくい欠点があったようです。変えることを検討しています。

いごちが良いため一番大切なことは、スタッフの応対だと思えます。みんなで努力してゆくつもりです。
院長

この地域でも、在宅医療に関する関心が高まってきています。また、介護保険実施により、関連のサービス機関が整備され、対象者の介護に当たる家族の方々の負担がかなり軽減されました。

そんな事情が重なり現在、在宅医療を受ける方々が増加しています。当院ではこの十月で三十七名となりました。十月初、小田原市北ノ窪に開設された「グループホームはーもにー」の方々の医療を担当することになったことも大きく影響しています。

平成二年以来十二年間、適確な技術とやさしい心遣いで、当院の医療につくしてくださいましたが、十月二十日で定年退職なさいました。この間のご精勤に拍手を送りたいと思います。今後は趣味の旅行を堪能なさることができるようではないでしょうか。川久保さんの後任で南足柄市出身の

グループホーム

はーもにー開設

小田原北ノ窪にこの十月より開設されました。

痴呆老人が増加していますが、痴呆に対しては治療薬はありませんので、良いケア(お世話)をすることが基本対策となります。

グループホームというのは少人数(五〜九人)の対象者が家庭的な雰囲気の中で共同生活をしてゆくことを支える施設です。

入所者と同数位のスタッフがあり、入所者が残る生

活能力をできるだけ発揮して、普通の生活ができるよう援助します。

この地区ではじめてのグループホームです。当院が協力医療機関となっております。

